

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベクター
 コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 711 | △20.6 | △93 | — | △92 | — | △93 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 895 | △19.7 | △30 | — | △26 | — | △27 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | △6.78 | — |
| 27年3月期第2四半期 | △2.01 | — |

(注) 平成27年3月期第2四半期及び平成28年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 1,930 | 1,665 | 86.1 |
| 27年3月期 | 2,059 | 1,741 | 84.4 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,663百万円 27年3月期 1,739百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

業績を考慮した剰余金の配当を実施することを基本方針としていることから、現時点では平成28年3月期の配当については未定であります。具体的な金額が決定した時点で速やかに開示いたします。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第3四半期(累計) | 1,120 | △19.2 | △140 | — | △140 | — | △142 | — | △10.27 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。詳細は、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 28年3月期2Q | 13,993,800 株 | 27年3月期 | 13,933,800 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 28年3月期2Q | 127,200 株 | 27年3月期 | 127,200 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 28年3月期2Q | 13,825,289 株 | 27年3月期2Q | 13,802,600 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成27年10月23日(金)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催時刻以降に当社ホームページ(<http://ir.vector.co.jp/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 4. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成28年3月期第2四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、円安による輸出企業の好調な業績や株式市場の堅調な推移を背景として、国内景気は緩やかな回復基調が続いております。個人消費については、消費者マインドに持ち直しの動きが見られつつも横ばいから緩やかな改善基調の動きに留まるなど、先行きについては不透明なものとなりました。

当社の事業領域であるパソコン向けオンラインゲーム業界の成長率は、スマートフォン(高性能携帯電話)・タブレット等を含めたゲーム市場は拡大基調が続いており、前期からのトレンドを踏襲する形で推移しております。

ソフトウェア販売を取り巻く環境としましては、ウィンドウズXPのサポート終了による買い替え需要の反動により、パソコンの出荷台数は低水準で推移しており、タブレット端末やスマートフォンの普及により先行きは依然として厳しいと予想されております。

このような環境のもと、オンラインゲーム事業においては、採算面が厳しい複数のゲームタイトルの終了を発表した一方で、新規タイトルのサービスを開始いたしました。営業収益は、新規タイトルが終了予定のゲームタイトルの落ち込みを埋めることは出来ず、前年同期を下回る結果となりました。

ソフトウェア販売事業につきましては、需要の縮小トレンドに加え、パソコンの出荷台数の低迷により営業収益は前年同期を下回る結果となりました。

営業費用につきましては、最適化・効率化により削減を進めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の営業収益は7億11百万円(前年同期比20.6%減)、営業損失は93百万円(前年同期は30百万円の営業損失)、経常損失は92百万円(前年同期は26百万円の経常損失)、四半期純損失93百万円(前年同期は27百万円の四半期純損失)となりました。

当第2四半期累計期間のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

| | 第28期第2四半期累計期間 | | |
|------------|---------------|-------|-------|
| | 金額 | 前年同期比 | 構成比 |
| オンラインゲーム事業 | 483,644 | △23.0 | 68.0 |
| ソフトウェア販売事業 | 178,844 | △18.2 | 25.1 |
| サイト広告販売事業 | 40,234 | △17.8 | 5.7 |
| その他 | 8,352 | — | 1.2 |
| 合計 | 711,075 | △20.6 | 100.0 |

オンラインゲーム事業

当第2四半期累計期間におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、4億83百万円(前年同期比23.0%減)となりました。

従来型のオンラインゲーム(クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの)は、前期から継続している4タイトルから平成27年6月に「BOUNDRA」、7月に「エターナル・アトラス -The Refined FN0」のサービスを終了し、当第2四半期累計期間末時点では2タイトルを運営しております。

ブラウザゲーム(パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム)は、前期から継続している7タイトルから平成27年7月に「神創詩篇ミッドガルド・サーガ」「創星紀アステルゲート」のサービスを終了し、平成27年6月に「魔戦カルヴァ」、9月に「ヴェルストライズ」のサービスを開始したことにより、当第2四半期累計期間末時点では7タイトルを運営しております。

当第2四半期累計期間末時点で運営を行っているスマートフォンゲームは、「アルカナ・マギア」「だいすきナンプレ！」の2タイトルとなっております。

ソフトウェア販売事業

当第2四半期累計期間におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、1億78百万円(前年同期比18.2%減)となりました。

ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウィンドウズXPのサポート終了により個人消費者向けパソコンの買い替えが進み、ウイルス対策ソフト等の販売が一時的に増加いたしました。個人消費者向けのパソコン市場の縮小や有料パソコンソフトに対する需要の減少傾向は継続しております。

サイト広告販売事業

当第2四半期累計期間におけるサイト広告販売事業の販売金額は、40百万円(前年同期比17.8%減)となりました。

ネットワーク配信型広告(キーワード広告、ユーザーの傾向を分析する行動ターゲティング広告等)が大半を占めており、サイト広告販売事業の基幹となっております。

その他

その他には、ゲーム以外のスマートフォン向けサービス等が含まれており、当第2四半期累計期間における販売金額は、8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状況の変動状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ1億29百万円減少して19億30百万円となりました。また、負債合計が前事業年度末に比べ52百万円減少して2億65百万円となり、純資産合計が前事業年度末に比べ76百万円減少して16億65百万円となりました。

(資産)

流動資産減少の主な要因は、有価証券が2億円増加したものの、現金及び預金が3億59百万円、売掛金が15百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産増加の主な要因は、無形固定資産が53百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

流動負債減少の主な要因は、買掛金が12百万円、その他が41百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債につきましては、退職給付引当金の増加と繰延税金負債の減少を差し引いた結果、固定負債合計に大きな動きはありませんでした。

(純資産)

純資産減少の主な要因は、四半期純損失93百万円の計上によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は86.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間において現金及び現金同等物は、期首残高の16億73百万円から1億59百万円減少し、期末残高が15億13百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純損失92百万円の計上等により小計段階で93百万円の支出となり、利息及び配当金の受取りと法人税等の支出を差し引きした結果、95百万円の支出(前年同期は45百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産(ソフトウェア)取得による支出81百万円等により81百万円の支出(前年同期は3億69百万円の収入)となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支(フリーキャッシュ・フロー)は、1億77百万円の支出超過となり、現金及び現金同等物の残高の減少要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使により18百万円の収入(前年同期の収支はありませんでした)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

平成28年3月期第3四半期累計期間の業績は、営業収益11億20百万円（前年同四半期期は13億86百万円 19.2%減）、営業損失1億40百万円（前年同四半期期は26百万円の営業損失）、経常損失1億40百万円（前年同四半期期は19百万円の経常損失）、四半期純損失1億42百万円（前年同四半期期は5百万円の四半期純損失）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,642,863 | 1,283,471 |
| 売掛金 | 207,394 | 191,541 |
| 有価証券 | 30,371 | 230,378 |
| その他 | 47,623 | 42,959 |
| 流動資産合計 | 1,928,253 | 1,748,351 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 11,559 | 9,613 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 49,619 | 58,019 |
| その他 | 30,125 | 75,544 |
| 無形固定資産合計 | 79,745 | 133,564 |
| 投資その他の資産 | 40,301 | 39,142 |
| 固定資産合計 | 131,606 | 182,320 |
| 資産合計 | 2,059,859 | 1,930,672 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 96,133 | 84,022 |
| 未払法人税等 | 5,803 | 4,498 |
| 賞与引当金 | 26,174 | 26,908 |
| その他 | 160,111 | 118,278 |
| 流動負債合計 | 288,222 | 233,709 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 27,857 | 29,681 |
| 繰延税金負債 | 2,380 | 2,114 |
| 固定負債合計 | 30,238 | 31,796 |
| 負債合計 | 318,461 | 265,506 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,007,526 | 1,016,570 |
| 資本剰余金 | 1,396,524 | 1,405,568 |
| 利益剰余金 | △574,819 | △668,510 |
| 自己株式 | △94,952 | △94,952 |
| 株主資本合計 | 1,734,279 | 1,658,677 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,981 | 4,440 |
| 評価・換算差額等合計 | 4,981 | 4,440 |
| 新株予約権 | 2,136 | 2,047 |
| 純資産合計 | 1,741,397 | 1,665,165 |
| 負債純資産合計 | 2,059,859 | 1,930,672 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 営業収益 | 895,414 | 711,075 |
| 営業費用 | 926,153 | 804,403 |
| 営業損失(△) | △30,738 | △93,328 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,292 | 293 |
| 受取配当金 | 85 | 170 |
| 為替差益 | 2,635 | - |
| 受取手数料 | 426 | 359 |
| その他 | 44 | 1 |
| 営業外収益合計 | 4,483 | 824 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | - | 42 |
| コンテンツ開発解約損 | 345 | - |
| その他 | 9 | - |
| 営業外費用合計 | 354 | 42 |
| 経常損失(△) | △26,609 | △92,546 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 55 | - |
| 特別損失合計 | 55 | - |
| 税引前四半期純損失(△) | △26,665 | △92,546 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,145 | 1,145 |
| 法人税等調整額 | - | - |
| 法人税等合計 | 1,145 | 1,145 |
| 四半期純損失(△) | △27,810 | △93,691 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失(△) | △26,665 | △92,546 |
| 減価償却費 | 66,948 | 22,708 |
| 長期前払費用償却額 | - | 47 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 1,607 | 1,824 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,963 | 734 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,377 | △463 |
| 為替差損益(△は益) | △1,906 | 46 |
| 固定資産除却損 | 55 | - |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △15,659 | 9,954 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △7,168 | △12,110 |
| 預り金の増減額(△は減少) | △8,468 | △1,657 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 17,922 | △34,415 |
| その他 | 18,159 | 11,980 |
| 小計 | 45,412 | △93,897 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,372 | 444 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △1,792 | △1,901 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 45,991 | △95,354 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の売却による収入 | 400,000 | - |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 369 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △41,542 | △81,994 |
| 長期前払費用の取得による支出 | - | △358 |
| 敷金の回収による収入 | 10,712 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 369,170 | △81,983 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 新株予約権の発行による収入 | - | 18,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | - | 18,000 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,906 | △46 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 417,068 | △159,385 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,211,182 | 1,673,235 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,628,250 | 1,513,850 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 |
|-------------------------|----------------|----------------|---------------|---------|-----|---------|
| | オンライン ゲーム事業 | ソフトウェア 販売事業 | サイト広告 販売事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 627,877 | 218,615 | 48,921 | 895,414 | — | 895,414 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 627,877 | 218,615 | 48,921 | 895,414 | — | 895,414 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △7,836 | △4,425 | 30,600 | 18,338 | — | 18,338 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 18,338 |
| 「その他」の区分の利益 | — |
| 全社費用(注) | △49,077 |
| 四半期損益計算書の営業損失(△) | △30,738 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 |
|-------------------------|----------------|----------------|---------------|---------|---------|---------|
| | オンライン ゲーム事業 | ソフトウェア 販売事業 | サイト広告 販売事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 483,644 | 178,844 | 40,234 | 702,723 | 8,352 | 711,075 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 483,644 | 178,844 | 40,234 | 702,723 | 8,352 | 711,075 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 5,964 | △1,223 | 11,630 | 16,371 | △72,555 | △56,183 |

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 16,371 |
| 「その他」の区分の利益 | △72,555 |
| 全社費用(注) | △37,144 |
| 四半期損益計算書の営業損失(△) | △93,328 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、一定の費用につき各報告セグメントへの貢献割合の変化により、当該費用の各報告セグメントへの配賦率を必要に応じて見直しており、当第1四半期から配賦率の変更を行っております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の「ソフトウェア販売事業」のセグメント利益が11,983千円増加し、「サイト広告販売事業」のセグメント利益が11,983千円減少しております。